



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/10/26

時事問題解説 #1
—習近平独裁体制の完成—
巨大な北朝鮮になる中国

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。皆さん、散髪いたしました。
コメントで色々応援していただき、喜ばれ、大変嬉しく思っております。

今日は久しぶりに国際情勢の分析と、その紹介をします。



10月26日土曜日、中国で共産党大会が閉幕しました。
そして、だれにとっても非常に不幸な現実が姿を現したんです。それは、習近平(1953-)の独裁体制がとうとう実現したということです。

中国共産党は5年に1 共産党大会を開きます。中国の共産党は世界最大の政党です。
現在 9700 万人の党員がいると言われていました。30 年前は 4900 万人でした。
30 年で党員数が倍増したんですね。これは、中国の中で共産主義のイデオロギーに価値を見出している人が増えている…ということではなく、“人民を支配する側に回りたい” という人たちが、こんなにも増えているということだと思います。

9700 万人が全員集まることは物理的に不可能なので、9700 万人の代表として約 2300 人が北京に集合するんです。これが5年に1回開かれる共産党大会です。
この代表の代表が共産党中央委員会という組織で、約 200 人のメンバーです。
これは徳川幕府で言うと、旗本、旗本二百騎のようなものでしょうかね。中央委員会の 200 人。

そして、この代表の代表の代表がいるんです。共産党中央委員会 政治局。24 人が選ばれています。これが共産党の核ですよ。



そして、この 24 人のもう一つ上があるんですね。
共産党中央委員会 政治局常務委員。7 人選ばれます。
この 7 人の集団指導体制で中国は動いています。
つまり 14 億人の中国は、たった 7 人の男が動かしているのです。
7 人のトップが現在の習近平。

彼以外に 6 人いて、集団指導体制の形を取って来たんですね。



なぜ集団指導体制にしたのか。過去にあった反省から生まれた知恵だったのです。
共産党の、中国の歴史に毛沢東(1893-1976)がいましたね。
毛沢東は個人崇拜を徹底し、彼一人に権力が集中して行く仕組みを次々作り上げ、成功して行きました。
もちろん、そのプロセスの中で反対する人たちは数限りなくいましたよ。
皆、消されて行ったんです。皆、粛清されて行ったんです。

それで、毛沢東に対してものを言うことができる・意義を唱えることができる人がだれもいなくなりました。彼が正しい政策をしたのならそれは良いのですが、彼は致命的な間違いをいくつもいくつもやります。2つ挙げましょう。



大躍進運動。
デタラメな経済政策。



文化大革命。
デタラメな経済農業政策。
権力を取り戻す闘争です。

大躍進運動で 3800 万人もの中国人民が餓死したと言われています。
文化大革命では権力闘争や様々な問題で、4000 万人の中国人民が餓死・死に追いやられたと言われています。彼はたった 1 人で、7800 万人もの人民を死に至らしめたと言えるんです。

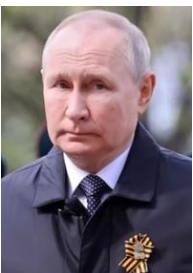
だれが見てもおかしいことを次から次に言うのですが、だれも止めることができない。
なぜなら、個人崇拜が徹底していて、中国共産党 = 毛沢東だったから。
毛沢東を否定することは中国共産党を否定するのと等しい意味だったのです。
権力が完全に集中していたために、異義を唱える者は命がいくつあっても足りませんでした。
この悪夢のような毛沢東時代は彼が死ぬまで続いたんです。
彼の死によって、ようやくやめさせることができた。自然にやんだわけですね。

その反省で、“1 人の人間に権力が集中するのはとんでもない事が起こる” というので集団指導体制
が起き上がった。7 人がそれぞれ権力を分担している。これをチャイナセブンと言います。
9 人の時もあります。7 人・9 人、いつも奇数です。偶数で話し合った時、半々で割れて何も決まら
ないことがないように奇数にしてるんですね。毛沢東時代に戻らないようにそんな仕組みを作っ
ていたのですが、今回習近平はそれを完全に骨抜きにしてみました。

常務委員には、1 人の人間が長く権力に留まることがないように色んな仕掛けがありました。
例えば 68 歳定年制。総書記は 1 期 5 年・2 期 10 年まで。1 人が連続して 3 期も 4 期もできない。
しかし、習近平は現在 69 歳。68 歳定年を越えている。にも拘らず彼はそれを無視しました。
そして 10 年掛けて、自分に都合の良いように共産党のルールを変更して来たんですね。
それで、3 期目に突入することになったのです。



習近平に対して距離を取ってきたナンバー2 の李克強 (り こっきょう/1955-)
は 68 歳になっていません。にも拘らず、今回引退に追い込まれたのです。
チャイナセブンのトップは習近平。残りの 6 人は全員、習近平派でガッチリ
固めました。つまり、集団指導体制が完全に崩壊した。
毛沢東時代への逆戻りが遂に始まったのです。



習近平氏は政治的にはロシア大統領プーチン氏を模範にして来た、と言われてい
ます。プーチン大統領は 20 年以上、権力維持に成功しているからです。
彼を模範にして権力保持に努めている。これが習近平の今までのスタイルでした。

そのプーチン大統領は現在、苦境に立たされています。
ウクライナ戦争で大変な悪戦苦闘状態に陥っているからです。

無謀な侵略によって、プーチン大統領が窮地に追い込まれつつあるとあっていいでしょう。
この無謀な戦争、やる前にだれか止めなかったのか。

なぜ戦略と言えるようなものが何もない、行き当たりばったりの戦い方でウクライナに攻め込んだのか。「そんなやり方しても失敗しますよ」と言う人はいなかったのか。いなかったんです。

プーチン大統領は 20 年にわたって権力集中を積み上げて来ました。

それで、耳の痛いことを言ったり、機嫌を損ねるようなことを言う側近はみな、遠ざけられたり失脚させられたりして、彼に本当のことを告げる人はいなかった。

プーチンが暴走した時にブレーキを掛ける人がいなくなった状態。

今 赤信号で、アクセルを踏んだら大変な事故になることが分かっているにも、「赤です！ ダメです！」と言える人がだれもいなかったことが、この暴挙の原因だったんですね。

同じことが、中国共産党の中でとうとう実現し始めました。

独裁が完成したら止め男がいなくなる。習近平独裁 3 期目に入るのですが、今後のリスクですね。

習近平のストッパーがだれもないということは、例えば「中国に進出している日本企業の日本人社員たちを人質に取れ」と彼が言えば簡単にやりますよ。

「台湾を攻撃しろ」と言えばやりますよ。「尖閣を取れ」と言えば当然やるでしょう。

すなわち、権力の暴走懸念が、今回の人事によって一気に爆上げしたのです。

中国の国内で起こることなので、私たちはそれに対して何もコントロールできません。

しかし、そんな事になった後 日本はどうすべきかについては、日本人自身が決めて準備することができるのではないのでしょうか。日本はすぐに準備すべきです。

まず最も根本的な準備は憲法改正ですね。

日本国憲法の中には、非常事態に関する項目が付いてないんです。

日本はどこからも攻められないという前提の憲法なので、いざとなった時、色んな不具合が出て来るんですね。「非常事態の時には、一時的に国家にこれらの権力を任せる。個人の権利を委ねる」ということが書かれていません。また、自衛隊は国軍の扱いがされていない。

ですから私は、とにかく一刻も早く、岸田政権に憲法改正について動いていただきたいと思います。

岸田政権が憲法改正するんじゃないありません。

国民投票によって国民が決めるのだから、「決めるチャンスを、政治家たちよ、与えてくれよ！」と声を大にして申し上げたいのです。

今の国際情勢を考える上で、この動画が何かヒントになればと思っています。

また国際情勢についても解説しますので、よければお付き合い下さい。

チャンネル登録もお願いします。ではまた、ごうちゃんねるでお会いしましょう。

皆さん、お元気でいてください。さよなら！